



○渋沢栄一が唱えた「士魂商才」とは

延岡商業高校の正面玄関に入り、左手壁側にこのタイトルの書が掲げられていることにお気づきでしょうか。確か、私の記憶が正しければ、この書は23年以上前に当時の校長が掲げた記憶があります。

「士魂商才」は、「近代日本経済の父」と評され、7月から新一万円札の肖像に使われることでも注目される渋沢栄一（しぶさわ えいいち）が唱えた言葉です。彼の生涯は、NHK大河ドラマ「青天を衝け」で描かれ多くの方々に親しまれました。渋沢は、「論語と算盤（ろんごとそろばん）」という著書で、「人間の世の中に立つには、武士道精神が必要だが、商才（ビジネス）がなければ、経済の上から自滅を招くようになる。ゆえに士魂にして商才がなければならない」と唱えています。また、幼い頃より父から論語で人としての在り方を学び、企業活動（商業）を通じて利益をあげ、国家社会を豊かにさせていこうとする考えを打ち出しています。この理念は、「**道徳経済合一説**」としても知られ、「倫理と利益の両立」として、**経済を發展させて国を豊かにするためには、個人が利益を独占するのではなく、富を社会に還元させるべきだと説いた**のです。

是非、みなさんも道徳を持って商業（ビジネス）に励み、世の中を幸せにできる人財になって欲しいと願います。

○全校集会 講話 「高校生活にハリと潤いを」 講師 山本教諭

一日24時間、学校で8時間、睡眠に8時間、残りの8時間をみなさんはどう過ごしていますか。なるべく自身を高めるために使って欲しいと思います。部活動をしていくと、様々なことがあります。部活動を続けることの意味は、「**人間関係で悩んだり、目標に到達できない悔しさなど、うまくいかないことを経験することが大切**、これらを周囲に支えられたり、自分自身で消化できるようになったりしながら成長できること」「これから高校総体に向けて、追い込みが始まりますが、たとえ目標を達成できなくても、必ず続けてやって良かったと思える」と力強く語っていただきました。山本先生ありがとうございました。3年生のみなさん、部活動3年間をどう終えることができましたか、たくさん力が身についたと思います。支えていただいた方々へ感謝しましょう。

○トコトン!ボーイ、トコトン!ガール みーつけた。（挑戦することを決めた生徒を紹介します）

3年生 M.Aさん

M.Aさんは、現在バレーボール部に所属する3年生です。今、挑戦したいことは、夏休みまでに日本商工会議所主催 簿記検定2級に合格することです。その挑戦を決めたきっかけは、父からのアドバイスだそうです。部活動から帰宅後、夕食・入浴を早めに済ませ学習が始まります。当然眠い目を擦りながらWeb教材の講義動画を受講し勉強しているそうです。資格については、日商簿記検定だけでなく、全商原価計算に合格すれば、全商簿記1級になると張り切っており、全商ビジネス文書1級も取得したいと意欲に溢れていました。

バレーボールは、辞めたいと思うことも何度もあったそうです。辛いのは、自分のプレーや、人間関係でうまくいかないことも。その時はどう解消するのかと尋ねると、「友人に相談したり、思いっきり泣いたり」と笑いながら答えていました。一番成長したと思えることを尋ねると、「あきらめることが多かったが、再度挑戦しようと粘り強くなったと思う。」「顧問の先生にも感謝しています」将来は?「大学に進学して、金融系の企業か、商業の教師になりたい」と力強く答えてくれました。M.Aさんの挑戦はこれからも続きます。「やると決めたら トコトン!」